

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 411

―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

「ユニバーサルデザインの

学習を通して」

日出生小学校5年

吉村 紗穂

昨年十一月、ユニバーサルデザインの授業がありました。当日、目の不自由な湯沢さんと盲導犬のテラちゃんが来ると聞いた時、

「目が見えないって、不自由でかわいそう。」

と話す、先生から、  
「目が不自由な人のことをかわいそうだと思っただね。」  
と聞き直されました。

ユニバーサルデザインの授業では、湯沢さんが連れてきた盲導犬について教えてくれました。

盲導犬のテラちゃんはとてもおとなしくて、湯沢さんのそばにすわっていました。

私は、「かわいいな。さわってみ

たいな。」と思いました。しかし、

「このハーネスをつけている時は、盲導犬はお仕事なんだよ。だから、テラちゃんに話しかけたり、さわったりしないでね。」

と、湯沢さんから説明がありました。テラちゃんは、お仕事の時間を理解できるお利口な犬なので、仕事中はじゃまをしたらいけないということとを初めて知りました。

次に、湯沢さんが白い杖を使ってホールを一周しました。机、いす、じゆうたんなど足に引っかかりそうな物がありました。湯沢さんは杖を使って上手に歩きました。

次に、テラちゃんと一緒に同じように歩きました。すると、テラちゃんは、机など歩くのにじやまになる方を歩いて、湯沢さんには安全な方を歩かせるようにしていることに気がつきました。

盲導犬は、ただ案内するだけではなく、命を守るように訓練されてい

ることに驚きました。

しかし、先生から目の不自由な人や盲導犬を困らせることや、時にはいやがらせのようなことをする人がいることを聞きました。

道路の点字ブロックに自転車を置いたり、歩きスマホの人がぶつかってもあやまらなかつたり。

信じられないことに、盲導犬にフオークをさしたり、たばこの火を押し付けたりする人もいるそうです。

「どうして、目の不自由な人や盲導犬に、そんなひどいことをするのだろう。自分とちがう人、弱い人、いやがらせをするなんてゆるせない。」  
と、強く思いました。

先生が私に、「目が不自由な人のことをかわいそうだと思うんだね。」と、聞き直したのは、「あなたも目の不自由な人をかわいそう、自分とはちがうと思っただけですか」ということを気がつかせられたんだとわかりました。

湯沢さんとテラちゃんに出会って、目の不自由な人は、杖を使ったり盲導犬と一緒にくらしたりしています。が、私たちと同じなんだと感じました。

これから、私は、目の不自由な人をはじめ、困っている人がいたら、自分から声をかけて少しでも役に立ちたいと思います。

「ユニバーサルデザインとは」

ユニバーサル「普遍的な・全体の」という言葉が示しているように、障がいの有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように、製品やサービス、環境をデザインすること。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会 社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届ください。

